

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 石川県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	能登町立宇出津小学校 全校児童 209名 保護者・地域の方（お手伝い） 40名程度
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（宇出津っ子ロードレース） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺機能及び筋持久力を高める。 ・苦しさに耐えて完走することを通して、最後までやり通すことのすばらしさを知る。 ・スポーツの楽しさ、成就感を味わう。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジランタイム 本番前1ヵ月間、長休みを中心に、朝休み、放課後に行う。 がんばりカードを活用する。走った周回数に応じて、「富士山賞」「エベレスト賞」「スーパーエベレスト賞」を設け、表彰する。 ・宇出津っ子ロードレース本番 1周800mの地域の商店街を通る周回コースで行う。1・2年1周、3・4年2周、5・6年3周とする。 コース上の安全確保のための観察員は、保護者や地域の交通推進隊の方が行う。スターター、最終走者伴奏者も保護者や地域の方が行う。



	
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地域が一体となった大会になっており、年々、盛り上がりが増してきている。沿道の応援の数も大変多い。その応援が、児童のがんばりにつながっている。 • 児童の意識の中に、目標をしっかりと持って大会に臨むことができている。 • オリンピアンへの派遣事業で走り方の基本を教わったことで、児童は大変意欲的に練習に取り組んだり、本番でがんばりを見せたりすることが出来た。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者や地域の方との連携。 • 町内への事前告知活動（ポスターの掲示、ケーブルテレビでの宣伝、新聞広告への掲載など）
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 安全確保の点で、まだまだ課題がある。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 継続して実施する予定。